



阿部 善朗さん (72)  
敦子さん (72)

南方町・板倉  
昭和40年12月入籍

### 温かく見守ることが夫婦円満のコツ

★結婚当時の思い出は

【善朗】仲人の紹介で結婚しました。家業である農業で米を生産していました。手作業だったので、苦勞しました。

【敦子】田尻町(現大崎市田尻)から嫁いで来ました。当時は、仙北鉄道がありました。お盆や正月に、実家へ帰る手段として利用していましたね。

★印象深い出来事は

【善朗】ギリシャのアテネに行ったときに、オリンピックの会場となった競技場で400mを走ったこと。次の日は筋肉痛で大変でした(笑) 【敦子】お義父さんに買ってもらった車で、蔵王のお釜まで行きました。運転に慣れていなくて、エコラインの坂

が怖かったですね。

★現在の楽しみは

【善朗】私のきょうだい夫婦と旅行や誕生会をしています。旅行は近場が多いですが、月1回くらい行っています。大勢だと楽しいですね。

【敦子】孫の運動会や音楽祭などに行くことです。ひ孫との散歩も楽しいですね。

★夫婦円満のコツは

【善朗】あまり干渉しないことかな。お互いに温かく見守っています(笑)

★やりたいこと

【敦子】シンガポールに行ってみたいです。個人宅で、花のアートをしているところがあるの、二人で散歩をしながら景色を楽しみたいです。

# One's Home

## ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

### 非常時にこそ助け合い

在京豊里会の会長として「広報とめ」の紙面を借りてごあいさつ申し上げます。

豊里会は、1975年に上野公園で開催した花見から始まったと聞いています。本年度で42回目の総会を迎えますが、ご多分に漏れず豊里会も高齢化に悩んでいます。田舎に住んでいる後輩などのつてを使い、若い人にも参加してもらえよう奔走しています。

このたび、広報とめの「ふるさとへの思い」に寄稿させていただきますことになり、私の思い出を少々述べたいと思います。私の子どもの頃は、勉強そっちのけで遊んでいました。バッタ(メンコ)やビー玉、

### 遠藤 富士雄さん (63)

登米市在京町人会連絡協議会役員、在京豊里会会長  
豊里町(長根)出身



ドジョウ釣り、山菜採りなどをして楽しみました。自然が遊び道具でした。今も雄大な富士の裾野で、山菜やキノコを採って楽しんでます。昔とは環境が違うということもありますが、今の子どもたちも、仲間を集めて何かをすることが少ないように感じます。仲間といういろいろな遊びをする中で、その中からルールが生まれ、助け合いの気持ちが生まれるものと思います。ふるさとを懐かしむ、慈しむという思いも薄れていると感じます。

また、市制施行10周年おめでとうございます。6月6日の記念式典には、私も出席させていただきます。式典では、さまざまな人のあいさつがあり、登米市の歩みや少子化問題など重要課題に全力で取り組んできた市政に感謝しました。

東日本大震災から4年半が過ぎました。最近も豪雨による大水害が発生。気を付けようにもどうにもならないことが次から次へと起きています。非常時にこそ助け合いが大切です。

私たちは登米市や各町人会と連携を密にし、微力ではありますが市発展のため、協力していきたいと思えます。

# おらほの道の駅

## 道の駅林館「森の茶屋」



### 「東和の秋まつり」



しあわせ米を生産している「こめ・米クラブ」の皆さんと熊谷駅長(中央)。

今月は、道の駅林館「森の茶屋」の熊谷信駅長にお話を伺いました。  
Q 道の駅林館でこれから開催するイベントなどを教えてください  
A 10月31日(土)に「東和秋ま

つり」を東和総合支所西側特設会場で開催します。祭りは、市内小中学生の合奏や東和文化協会の舞踊、豪華賞品が当たる大抽選会などイベントが盛りだくさんです。抽選会には誰でも参加できますが、抽選券が必要です。抽選券は、道の駅林館「森の茶屋」や当日会場で配布します。  
また、警察、消防、自衛隊車輛展示コーナーを設けます。実際に触れることができますので、小さいお子さんも楽しめます。  
Q 今の季節、お薦めの農産物を教えてください  
A 今の季節は新米ですね。当

駅では、おいしい水の郷東和で栽培したお米「しあわせ米」を販売しています。品種はひとめぼれです。町内の6農家でブランドを立ち上げました。昨年飛来した「幸せを運ぶコウノトリ」がブランド名の由来です。  
また、レストランでは、きのこせいろや森のキリシタメンが人気メニュー。東和の森の恵みがたくさん入った料理です。  
【問い合わせ】道の駅林館「森の茶屋」  
☎0220(45)1218



↑きのこがたくさん『きのこせいろ』

# まちの文芸

作品募集!  
●12月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、10月30日(迄)まで応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。  
●応募者多数の場合選考して掲載します。

川柳  
大雨が去って晴天知らん顔  
閑白とお手手つないで五十年  
恥じらいも初々しさも旅に出る  
俳句  
眠りても葡萄の匂ふ仏間かな  
初秋刀魚煙の向こうに箸踊る  
川上もその川上も煮会

吉田まさよ (迫)  
高橋 良子 (迫)  
本間いく子 (中田)  
藤野 尚之 (迫)  
及川 澄子 (東和)  
及川 豊子 (東和)

高坏を拭いて白桃供えけり  
驚草や夕餉の卓に飛んでる  
分身の影におどろく盆の道  
休暇明け赤銅色の脚二本  
今年米出来高自慢のコップ酒  
薄味の喜しに慣れて栗おこわ  
美しく畔草刈られ出穂匂う  
大き目の視野はどれほど鬼やんま

及川奈奈夫 (東和)  
菅原いよ子 (東和)  
五十嵐進太夫 (中田)  
石川 敦子 (中田)  
佐藤喜美子 (津山)  
須藤 桂子 (津山)  
高橋ちよの (津山)  
武山より子 (津山)

応募総数 27 作品